深刻な物価高と税・各種保険料負担による 生活苦への緊急対策を求める要望書

2024年11月11日

日本共産党杉並区議団

日本共産党杉並区議団は、現在、「暮らし・区政への要望アンケート」に取り組んでいます。これまでに届いた回答では8割を超える区民が、くらしは「苦しくなった」「苦しい状況が続いている」と答えるなど、深刻な実態が浮き彫りになっています。

このアンケート回答にもとづき、杉並区として直ちに対応すべき課題、および来年度予算案に盛り込むべき課題について、下記の通り申し入れます。

— 記 —

1. 深刻な物価高騰対策

アンケートを通じて、大多数の区民が生活苦に直面するというかつてない事態が浮き彫りになりました。しかもアンケートでは、生鮮食品、コメ、電気代など生活に不可欠な品目が高騰しており、食費を削り、コメをへらし、電気代も節約するなど、切実な声が寄せられました。憲法が保障した健康で文化的な生活が脅かされている状況を示すものであり、それだけに、杉並区が財政調整基金も活用し最大限の対策を実施することを求めるものです。

- (1) 政府にたいし、物価高騰対策として、地方公共団体にたいする臨時交付金の交付、国民への給付金支給、電気・ガス代引き下げなど、緊急対策の実施を求めること。
- (2) アンケートでは、くらし支援策の要望として、プレミアム商品券の発行を求める声が多数あった。ただちに杉並区商店会連合会とも協議し、プレミアム商品券の発行に取り組むこと。
- (3) 低年金の区民から、物価高騰によってわずかな預金を取り崩しながら生活している訴えが目立った。こうした世帯にたいし、給付金支給などの対策をとること。
- (4) コメ価格の高騰で主食であるコメも食べられない事態の解決は急務である。低所得世帯にたいし、コメの支給あるいはコメ券の発行をおこなうこと。
- (5) 昨年度実施した区内中小事業者への光熱費高騰分への助成を再度実施すること。

2. 税、社会保障負担の軽減策

税や社会保障負担の軽減も急務です。アンケートへの回答では、生活苦の原因として、物価高騰とともに10%の消費税負担や国民健康保険料の値上げが上位を占め、国保料に関しては65%が「高すぎて生活を圧迫している」と答えています。また希望する対策では「せめて食品だけでも消費税をゼロに」や「国保料を下げて」の声が寄せられました。

- (1) 10%の消費税負担は、物価高騰とのダブルパンチとなって家計を直撃している。区として、国にたいし、消費税の税率引き下げ、食品への課税廃止などを強く求めること。
- (2) アンケートでは、国保会計への財政支援について、82%の人が「縮小は許せない」と答えており、被保険者以外の区民も財政投入を求めている。物価高騰による深刻な生活苦が進行している時だけに、来年度の保険料の値上げを抑えること。また、均等割り軽減支援を未就学児以外にも拡大すること。

3. 住宅対策

物価高騰のなかで、民間賃貸住宅の家賃負担が家計に重い負担になっていることがアンケートで浮き彫りになりました。家賃負担について、回答者の68%が「高くて生活を圧迫している」と答えています。また、「くらしで困っていること」の記載では、低額の年金生活者から、わずかな預金を取り崩して家賃の支払いにあてており、預金がなくなったらホームレスになるという悲痛な訴えもありました。

- (1) 「希望する住宅対策」では「家賃助成」の回答が70%に及んでいる。区は、家賃助成について本年度実施を表明しているが、早急に実施に踏み出すこと。とりわけ、低年金高齢者、ひとり親世帯への対応を急ぐこと。助成は、遡った給付も検討すること。
- (2) 家賃助成とともに、「都営・区営住宅の増設」の要望は48%にのぼっている。区営住宅、「みどりの里」の増設を図ること。東京都にたいし、都営住宅の増設とともに、事業用（建替え事業）として空室となっている未使用の部屋を貸し出すよう求めること。

4. 教育費負担軽減策

子どもの教育費は、物価高騰のもとでも削減できない分野であり、子育て世帯にとって重い負担となっています。アンケートでは、修学旅行費や塾代の高額化が家計を脅かしていることが浮き彫りになり、通学交通費への支援などの要望も寄せられました。

- (1) 就学援助について、認定基準の引き上げや支給費目の拡大、入学準備金の支給額アップなど、さらなる拡充をはかること。

- (2) 修学旅行費補助を再開するとともに、他の教育費負担の軽減をはかること。
- (3) 受験生チャレンジ支援貸付事業は、収入基準の引き上げによる対象者の拡大をはかること。貸付でなく給付事業に転換すること。
- (4) 大きな負担となっている通学交通費の負担軽減をはかること。神戸市などの事例を参考に、高校生の定期代無償化に踏み出すこと。

5. 出産、育児支援

アンケートを通じて、物価高騰、税と社会保険料等の値上げなどによって、「子どもを産み育てることは考えられない」など出産を諦める事態が起きていることが浮き彫りになりました。また「出産助成支援をお願いします」「妊婦健診、出産費用がかからないと助かる」などの要望も寄せられました。

- (1) 足立区や世田谷区など、他区ですすでに行われている出産一時金50万円にたいする上乗せ助成を、杉並区でも実施すること。
- (2) 妊婦検診について、自費負担分についても助成すること。妊娠判定のための受診にも助成を行うこと。

6. 年末年始の相談体制の強化

- (1) 年末年始の閉庁期間について、福祉事務所の臨時相談窓口を開設するなど、生活保護申請の相談・受付など必要な対応が行える体制を整えること。
- (2) 閉庁期間における緊急の相談受付について、連絡先等をチラシやホームページ、SNS等で広く周知すること。
- (3) 東京都に対して、年末年始に失業や収入の減少などによって住居を失った方にたいして、ビジネスホテルの借り上げによる一時宿泊所の提供を再開するよう求めること。また、区独自のビジネスホテルの借り上げや宿泊可能な区立施設の開放なども検討・実施すること。

以上

「くらし・区政への要望アンケート」物価高騰・くらし関係中間集約

2024年11月8日

日本共産党杉並区議団

集約は届いた回答から641通分について、物価高騰とくらしに関わる回答部分を整理・分析したもの。

問1 物価高騰が続いていますが、昨年にくらべ、くらしはどうなりましたか

回答者640人

設問	回答者数	比率
苦しくなった	321人	50.2%
苦しい状況が続いている	210人	32.8%
良くも苦しくもない	103人	16.1%
良くなった	5人	0.8%

「苦しくなった」「苦しい状況が続いている」を合計すると83%に及び、8割を超える回答者が生活が「苦しい」と感じていることが浮き彫りになった。

問2 苦しい原因はなんですか

複数回答 回答者544人

1位 物価の高騰	475人	87.3%
2位 光熱費・家賃負担	243人	44.7%
3位 10%の消費税負担	216人	39.7%
4位 住民税・所得税負担	200人	36.8%
5位 国保料の引き上げ	192人	35.9%
6位 年金が少ない	159人	29.2%

生活が苦しい原因が、異常な物価高騰とともに、10%の消費税負担、国民健康保険料などの重い負担など、複合的・構造的問題にあることが鮮明になった。

問4、問5の困っていること、希望する対策の自由記述欄でも、「国民健康保険料が高すぎる」「せめて食料品は消費税0%に」などの記載が多数あった。

問3 節約のために我慢していることは何ですか

複数回答 回答者595人

1位 食費（外食含む）	402人	67.6%
2位 旅行	311人	52.3%
3位 衣服	309人	51.9%
4位 趣味	186人	31.3%

節約・我慢の第1位に食費があげられたことは、物価高騰によって生活の根幹であ

る食事を削らざるをえないという深刻な事態に追い詰められていることが浮き彫りになった。旅行や衣服、趣味なども我慢が強いられていることも確認できた。

問6 国民健康保険料負担について

回答者452人

高すぎると思わない	96人	21.2%
高すぎて生活圧迫	294人	65.0%
その他	62人	13.7%

問7 国保料の値上げを抑えるための財政支援について

回答者463人

縮小やむをえない	34人	7.3%
縮小許せない	381人	82.3%
その他	48人	10.4%

65%の回答者が「高すぎて生活圧迫」と答え、値上げを抑えるための財政支援について82%の回答者が「財政支援の縮小は許せない」と答えたことは、注目すべきこと。

区は従来、一般財源投入につて国保被保険者以外の区民合意を障害にしてきましたが、被保険者か否かをこえて多数が財政支援を求めていることが鮮明になりました。

問8 家賃負担について（民間賃貸住宅居住者対象）

回答者277人

適正だと思う	71人	25.6%
高くして生活を圧迫	185人	66.8%
その他	21人	7.6%

問9 希望する住宅対策

回答者295人

（家賃助成と都営・区営住宅の両方○の回答あり）

家賃助成	201人	68.1%
都営・区営住宅増設	140人	47.5%
その他	32人	10.8%

家賃助成と都営・区営住宅増設とも多数が希望していることが浮き彫りになりました。なお、自由記載の記述によって、賃金、年金が上がらないなかでの物価高騰によって、家賃負担がこれまで以上に家計の重い負担となっていることが浮き彫りになりました。とりわけ年金生活の場合、預金を取り崩さざるをえず、何年か後にはホームレスになるという悲痛な叫びもありました。

問4くらしで困っていること、問5くらし支援策の希望への記載より

自由記載を通じて、事態の深刻さや、深刻さの要因が浮き彫りになりました。自由記載の一部を紹介します。

① 賃金も年金も上がらないもとの物価高騰が事態を深刻化している

とりわけ低年金者は生きられない事態に

「年金生活者は物価高騰の波をもろにかぶっています」

「年金が減っているなかどうやって生きていけるのか」

「年金が少ないのでわずかな貯金を切りくずし」

「物価が上がっているのに給料は上がらない、保険料も光熱費もあがっている」

「中小企業…賃金があげられないなか、物価だけが上がって、生活費が負担に」

「物価だけ上がって賃金は上がりず」

② 生活切り詰め、非人間的な生活強いられる事態が

「食費を抑えた生活をしているが健康に害をきたいしそう」

「野菜、肉、魚画が買えない、菓子パンばかりで糖尿病になる」

「失業中に物価高騰…節約しても節約しても厳しい状況が続いている」

「物価高騰により節約（主に食費）を続け、心身、身体的に元気がなくなった」

「水道代を節約するためにお風呂をシャワーのみにすることが多く健康的でなく」

③ 深刻な将来不安

「…切り詰めても貯金が減ってうばかり、今は何とかなくても、数年後とても不安」

「価格が高くなりすぎて子供の出産が現実的でない」

「ダメダメダメの息苦しい社会になった」

④ 家賃負担が深刻に

「今年に入って家賃の支払いなど遅れている。ギリギリの生活」

「常に付きまとうのが家賃負担、1000円でも2000円でも補助があれば」

「わずかな貯金が毎月少なくなっている、何年かさきは家賃払えずホームレスになる不安」

○国保料負担への怒りが

「国民健康保険料が殺すつもりかかってくらい高額」

「国民健康保険料、税金等の固定費が生活を圧迫している」

「国民健康保険料のあまりの高さに呆れると同時に怒りさえ覚える」

「国民健康保険料が毎年大きく引き上げられ家計を圧迫」

「国民健康保険料が毎年大きく引き上げられ、家計を圧迫」

「年金予定受給額を確認ら国保等の支払いをしたら食費も残らない、いまから不安」

○問5「希望する対策」では、消費税の廃止・減税が多数

「消費税をとにかく下げてほしい」

「費税を全廃すること」

「費税を減税するだけでなく一時的にも撤廃してほしい」

「費税は減らしてほしい、せめて食品はゼロ」

○給付金や商品券など直接的支援を希望

問5希望する対策の記載で、区レベルでの対策では、給付金や助成金、商品券など**直接的支援**の希望が多かった。

- ・目に見える支給を
- ・家賃、教育費支援
- ・貧困世帯継続支援
- ・食料割引チケット
- ・子供家庭へのお米券
- ・商品券の配布、杉並区のプレミアム商品券等出してほしい
- ・杉並区内で使えるクーポン券
- ・飲食店のクーポン券
- ・現金給付が一番役に立ちます
- ・子育て給付金
- ・困窮世帯に一律10万円の給付金
- ・困窮世帯への給付拡充
- ・光熱費の支援
- ・家賃光熱費の補助
- ・若者貧困層に家賃補助
- ・ゴミ袋は無料のまま
- ・カネ、現金

○問 15「杉並区政で変化を感じていることがあればお書きください」への回答（一部抽出）

項番	地域	職業	回答
1	井草	—	関係者のやる気が出てきていい感じに感じます。いい感じです。
2	天沼	年金生活	区役所の皆さんが新設になりましたね。
3	下井草	派遣	給食無償化など良かったと思います。区の施設に対する配慮（天沼区民集会所など）もうれしい。
4	本天沼	自営業	最近少しはよくなった感じ。区民を中心に行政をしている。
5	井草	年金生活	区長が代わってから弱者への支援を感じる。
6	下井草	年金生活	区民の声を聴く姿勢や区民の声を反映してきていること。
7	下井草	無職	施設整備にあたり住民の声を聴く姿勢が見られようになった。田中区政はひどかった。
8	下井草	年金生活	区民が参加して作っていく環境整備の機会多くない大変よい。
9	清水	パート	田中区政から岸本さんに代わって区民の意見が反映されるようになり、業者との癒着もなくなったと思う。
10	井草	年金生活	岸本区政は希望の星、この状態を維持・拡大するために全力を尽くすことが大切。
11	本天沼	年金生活	区長からの支持で「現場の意見を聞け」とはなったが、区の担当者は議論の進め方、深堀の仕方を全く理解しておらず、自分達で勝手に作ったシナリオ通り進めようとする。…
12	上荻	正社員	女性が区長になってうれしい。
13	本天沼	年金生活	区報が見やすくなった。区職員の方々の対応が対等に感じられ身近になる、意見を言いやすくなり、私たちが望むようになるのではという期待がもてる。
14	本天沼	パート	給食無償化で品数や量が減ったみたいです。
15	上荻	正社員	岸本聡子さんが SNS で情報発信しているのを見かける。とても良い変化だと思う。…
16	本天沼	年金生活	区長の活動の様子がマスコミ等に紹介されることが多くなった。身近な区長としてのますますの活躍を期待する。
17	本天沼	正社員	岸本区長になり確実に区民寄りの政策になっていると感じる。
18	井草	自営業	LED電灯、電気代補助助かります。
19	下井草	正社員	新区長になって悪い変化しかない。

20	南荻窪	正社員	公報すぎなみを見ていると区民参加型予算のきじがあり、参加している気がする。区長の対話も多そう。でも広報をみていなとわからないと思う。
21	荻窪	フリーランス	健康に関する政策が悪くなっている気がする。成人健診の内容が減っている。
22	荻窪	家事専業	児童館がア菱されるのを今回区長さんが増設する方向を打ち出したこと。…児童館とともに学童保育の場も復活してほしい。
23	西荻南	教諭	立民区政になってよかった。共産党ももう少し現実的な政策にシフトした方がいいように思う。
24	松庵	正社員	住民の声が活かされるように感じ、今までとは全くちがう区政になっている。
25	南荻窪	無職	人権問題への取組みは大いに評価したい。区民との対話もひきつづき重視してほしい。…
26	荻窪	家事専業	新区長さんは頑張っていらっしゃると思います。…一方で障害者のタクシー代が減らされてしまったことは残念です。
27	荻窪	正社員	左傾化しすぎもっと中立にすべき
28	宮前	正社員	岸本区長になり、何をしているか今後どうしていきたいのかを知りたいと思えるようになった。
29	西荻南	自営業	若返り風通しがよくなってよいと思います。…極端な反動もありますが、頑張っ乗り越えてほしい。
30	南荻窪	正社員	財政状態が良くないことに懸念します。効率的に無駄な区運営されることを希望します。
31	宮雨	無職	区の決定事項はもう戻せないと思っていたが、区長が変わってから「…基本方針」の中で児童館廃止をくい止めたこと。
32	宮前	年金生活	小さな子供たちに少しずつ行政の手が届いている感じをもちます。高齢者としては余りわかりません。
33	西荻窪	派遣社員	区民の意見や思いが区政によく届くようになった。
34	西荻南	無職	前区長が返り咲きを目論んでいる話をきいた。…杉並区には若くて純粋に区民のために仕事をしている職員もいる。中立に判断して守る態勢が急務ではないか。
35	上荻	年金生活	区長が変わってから区の行政がガラス張りになってきて解りやすい。
36	善福寺	パート	児童館を増やそうとしているので、子どもに寄り添ってる感じ。
37	今川	正社員	今までと（田中区政）変わって住民の声を聞こうという取組が良い変化と思う。児童館等施設の充実に変化した事が素晴らしい。
38	井草	年金生活	引き続き区民との対話による区政を前進させてほしい。

39	善福寺	自営業	区民との対話を重視してきたと感じる。
40	西荻北	パート	区長の実績は素晴らしい、市井の人々を一人スタンディングするように気遣ってくれたのは彼女です。・
41	今川	無職	児童館直営検討をぜひ進めて、区民の意見を取り入れる方向への姿勢をうれしく思う。
42	善福寺	正社員	岸本区長の実績をとっても評価しています。時間がかかるとは思いますが、このまま進めていただきたい。気候市民会議の成果を楽しみにしています。
43	西荻北	年金生活	区長が変わってとても身近に感じている。他区の友人も応援。

以上